

令和3年1月 市長定例記者会見

2021年1月4日(月)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和3年1月市長定例記者会見を始めます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いいたしますと思います。事業発表に係る質問応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進みたいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数でございますが、まず挙手をお願いいたします。そしてご自席のマイクのスイッチを入れていただきまして、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

それでは、市長、よろしく申し上げます。

【市長】 それでは、皆さん、新年明けましておめでとうございます。皆様おそろいで輝かしい新年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。

私ごとですけれども、年賀状に、コロナの中ですけれども、いい年になるように精いっぱい頑張りますと書いているうちに、頑張らなくてはいけないなというふうな気持ちになりましたので、今年も精いっぱい、いい年にするように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業発表は4つでございます。1つ目が第72回敦賀市成人式の挙行について、それから2つ目が敦賀消防団出初式の実施について、それから3つ目がホストタウン交流事業・日本人オリンピックによるスケート教室の開催についてでございます。それから4つ目が不妊治療費補助金の拡充についてという4項目でございます。

では、最初の第72回敦賀市成人式につきまして。

令和3年1月10日曜日午後1時から挙行いたします。対象者は、平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方、616名です。男子が310名、女子が306名というふうに伺っています。今回、新型コロナウイルス感染防止のため、会場をプラザ萬象大ホール及び小ホールの2会場を使い、同時に挙行いたします。

2つ目ですが、敦賀消防団出初式の実施についてでございます。

消防団員の士気の高揚を図るとともに、近代消防設備と精錬された消防団員の意気を公開することにより、市民の消防意識を高めることを目的として、令和3年1月11日月曜日に新春恒例の出初式を挙行いたします。また、当日、きらめきみなと館イベントホールにおきまして、敦賀消防団消防鳶隊、つるが鳶によるはしご乗り演技を披露いたします。

それから3つ目ですけれども、ホストタウン交流事業・日本人オリンピックによるスケート教室の開催についてでございます。

チラシもお配りしているかと思いますが、敦賀市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されていることから、スポーツの振興やオリンピックへの機運醸成を図るために、日本人オリンピックによるスケート教室を2月13日に開催いたします。

教室の講師として、2014年ソチオリンピックのフィギュアスケート女子シングル日本代表の村上佳菜子さんをお招きします。市内在住及び市内に所在する学校に通学する小中高校生を対象とします。オリンピックである村上さんからスケートを教えてもらい、また、その技術を体感していただき、敦賀におけるスポーツのさらなる機運醸成につなげていただければと思っております。

それから4つ目ですが、不妊治療費補助金の拡充についてでございます。

本市におきましては、不妊治療を受ける夫婦に対し、従来より体外受精及び顕微受精に係る特定不妊治療費に対する補助を行ってまいりましたが、令和2年度からは、治療を受けようとする方の経済的負担をできるだけ軽減し治療に臨んでいただけるよう特定不妊治療費の初回治療に係る助成費を10万円から20万円に、2回目以降も15万円に増額し、また人工授精等に係る一般不妊治療及び不育症治療への補助も新たに行っているところです。このたび、特定不妊治療の2回目以降の助成額を15万から20万に増額するなど、できる限り経済的負担を少なく治療に臨んでいただけるよう制度を拡充いたします。

発表項目は以上4点でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問を受けたいと思ひます。最初に幹事社さんのほうからお願ひいたします。

【記者】 2点お伺ひします。まず、成人式なんですけれども、現時点での新型コロナ対策を具体的に教えていただきたいのが一つと、2点目、不妊治療なんですけれども、昨年の年末、厚生労働省が発表したものと同じかなと思ひんですけれども、敦賀市独自で上乘せしている部分があれば教えてください。

【市長】 では、それぞれの担当からお答えします。

【教育委員会事務局長】 まず、成人式の現時点でのコロナ対策の対応ということでございます。先ほど市長のほうから申し上げました会場につきまして、例年ですとプラザ萬象の大ホールのみですが、今回、大ホールと小ホール、2会場に分けて同時に挙行いたしますということでございます。

また、コロナ感染症の防止対策ということでございますが、参加者全員の健康確認ということで、当日はもちろんですが、2週間前からの検温とか、健康確認をお願いしております。そして当然のことながら会場内の消毒、また消毒液の設置等をします。そして、係の職員等の感染防止対策というところでもしっかりと対策を取るよう考えております。

会場ですけれども、式典の開催中、人の密集防止ということで、座席を1席ずつ間隔をあけてお座りいただくということとか、また退場につきましても分散で退場していただくというようなことで、呼びかけをしたいというふうに考えております。

そしてまた、入場券というのを御持参いただくんですけれども、そちらのほうに参加者の連絡先と、誰がどの席に座っていたのかという把握をするために、座席に番号札を置きましてそちらのシールを貼っていただき、その入場券をまた後ほど回収するというので、誰が座っていたかというところを把握できるようにさせていただきます。

あともう1点が、今回、体調不良で参加できない方とか、また保護者やご家族に配慮するために、ユーチューブを活用したオンラインのライブ配信を実施するというのを予定させていただいております。

以上でございます。

【福祉保健部長】 福祉保健部からは、不妊治療助成費についてご説明をさせていただきます。

先ほど市長からも説明させていただきました助成額につきましては、全て国の助成というわけではなく、市独自の助成額でございます。現在、市独自の助成額として国に上乗せして初回20万円、2回目以降が15万円というような助成をさせていただいているところを、2回目以降は20万円等に増額をするというものでございます。

【秘書広報課長補佐】 よろしいでしょうか。

それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 成人式のこと教えてください。先ほどおっしゃったのかもしれないんですが、大ホールと小ホールに分けられるということなんですけれども、例えば県外から来た人は小ホールに行ってもらおうとか、そういう分け方になるのでしょうか。

【教育委員会事務局長】 そういう分け方ではなくて、順番に、まず大ホールにお入りいただきます。大ホールも人数に限りがございますので、大ホールに入れない方が小ホールに移っていただくというような形になるかと思えます。

【記者】 分かりました。

あと、市長をはじめ式辞とか司会の方とかいらっしゃると思うんですけども、それは大ホールのほうにいらっしゃるというふうに理解したらいいんですか。

【教育委員会事務局長】 そのとおりでございます、その模様を小ホールのスクリーンにも映しまして同時配信するというところで考えております。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【記者】 ホストタウン交流事業の件なんですけれども、村上さんを講師に選ばれた理由などございましたら教えてもらえますでしょうか。

【企画政策部長】 まず、スケート競技を交流事業に選んだ理由から申し上げますと、基本的には県内唯一のスケート場があるのは敦賀市だけということで、敦賀市の地域に根差したスポーツという形でスケートを選びました。その中で、オリンピックの方との交流がホストタウン登録の条件となっておりますので、今回、都合がついたといえますか、応じていただけるのが村上佳菜子さんということでございます。

以上です。

【記者】 不妊治療費補助金の件で、まず予算額と前年度の実績と、あとは1月以降1年間でどれくらいの方の利用を見込んでいるかを伺いたいです。

【福祉保健部長】 まず実績、例年、不妊治療の助成といいますと年度末に皆さんまとめて申請される方が多くございまして、令和2年12月末現在は28件の助成件数がございしますが、これ以降、例年70件から80件ぐらいの申請がございしますので、申請件数はそう変更はないかなというふうには思っております。

この拡充をさせていただくということで、令和2年度と3年度の差額といいますか増額する分といいますと、大体130万ぐらいの予算額を見込んでおります。

以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へ移りたいと思います。幹事社さんのほう

からお願いいたします。

【記者】 例年、年始に各電力事業者さんからの年始の挨拶があると思うんですけども、現時点で3事業者ともに日程が決まっているところはありますでしょうか。

【企画政策部長】 ある程度決まってはいるんですけども、社長さんとかが来られることは、この御時世、コロナ等の関係でありますので見えられないと聞いております。

以上です。

【記者】 具体的な日にちまでは、大体いつ頃、第2週ぐらいを心づもりしておけばいいですか。

【企画政策部長】 今週あたりからスタートするかと思います。具体的な日程は、まだ分かりませんが。

【記者】 事前に、もし決まった場合は広報していただけるとありがたいんですけども。

【企画政策部長】 いわゆるオープンということではないと思いますので、事前にはお知らせできないかと思えますし、しかも社長さん方とかトップの方が来られるわけではございませんので、ご理解をお願いしたいと思います。

【記者】 記者クラブのほうにも来られるというふうにお伺いしているんですけども、それとはまた別なんですか。

【企画政策部長】 例年どおりですと、通常、記者クラブの訪問のときに一緒に来られるのではないかなと思っております。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。

【記者】 先ほど総理が会見で、今週中にも1都3県で緊急事態宣言を発出する用意をされているというお話をされました。まだどのような影響が出るかというのは難しいと思うんですけども、現時点で考え得る1都3県で緊急事態宣言が出た場合の敦賀市政の取り組みへの影響などは何かありますでしょうか。

【市長】 先ほどの発表項目になりますけれども、どのタイミングでという話で、成人式に来られる方への影響というのがありますし、また、スケート教室についても、それは緊急事態宣言以外でもコロナの収束状況というので感染拡大の関係で影響はあると思いますけれども、県内の感染状況を見ていきますと、しっかりと福井県のほうで抑え切れていると思っていますので、緊急事態宣言が出ると行き来しにくくなりますけれども、そういう大きな影響はないんじゃないかと思えます。

【記者】 今の質問に重ねてというか関連するんですけども、年が変わったということで、今年の敦賀市として新型コロナに対する対策ですとか、去年の反省とかも含めてになると思うんですけども、考え方とか方向性があつたらお聞かせください。

【市長】 去年のコロナウイルスが発生した当初というのは、私ども、マスクを何とか手に入れようということで、いち早くマスクを手に入れたり、医療用マスクも手に入れて動いてきたと思っているんですけども、全体的には、一番最初の会議で申しましたのは、コロナも大変なんだけれども経済が失速しないように気をつけようねという話はしたんですが、実際には経済はぐっと失速しましたので、いろんな対策を打たせていただきました。

去年のことをもう一回振り返って、これだけ長くなると考えずにいろんな対策を打った

部分がありますので、それはもう一回同じことをやるのか、もしくはリメイクしてやるのかというのはありますけれども、もう一回やったことを見直して、長期化したときの対応というのを見直して考えたいというふうに思っておりますし、みんなに考えてきてくださるようお願いしたところです。

【秘書広報課長補佐】 ほか、いかがでしょうか。

それでは、これもちまして1月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後1時 48分 終了